

オーディオ実験室収載

STAGE+を楽しむ(332)(HP 収載) —アリスト・シャムのバッハ、 Brahms、ブゾーニ—

1. 始めに

前報(331)に引き続き、 STAGE+のアリスト・シャムのバッハ、ブラームス、ブゾーニの演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、前報(331)に引き続きアリスト・シャムのバッハ、ブラームス、ブゾーニの演奏を選びました。

ヴァン・クライバーン覇者アリスト・シャムが芸術の殿堂で演奏

バッハ、ブラームス、ブゾーニ

収録日: 2025年11月21日

芸術の殿堂（ソウル）で行われた、香港出身の新進気鋭ピアニスト、アリスト・シャムのリサイタルの模様をお届けします。彼は、2025年ヴァン・クライバーン国際コンクールで見事優勝を果たし、世界から一躍脚光を浴びました。初めに披露されたのは、イタリアの近代ピアノ音楽を代表する作曲家ブゾーニが手掛けたバッハ、ブラームス、ショパン作品のトランスクリプション。後半は、ブラームス自身に焦点を当て、親密さに満ちたピアノ小品集から若々しい情熱が渦巻くピアノ・ソナタ第1番まで、その深遠な世界に迫ります。古典からモダニズムへと至る音楽の連なりを探究する壮大なプログラムで、今後さらなるキャリアを築くであろう若き才能のヴィルトゥオジティと芸術性を存分にお楽しみください。

ソリスト:

アリスト・シャム (ピアノ)

曲名:

ヨハン・セバスティアン・バッハ

無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番ニ短調 BWV 1004 より

第5曲：シャコンヌ（ブゾーニ編）

ヨハネス・ブラームス コラール前奏曲集 op. 122（ブゾーニ編）

フェルッティオ・ブゾーニ

ショパンのハ短調前奏曲 (op. 28-20) による変奏曲と自由な形式のフーガ op. 22,

ヨハネス・ブラームス 8つの小品 op. 76 (抜粋)

ヨハネス・ブラームス 7つの幻想曲 op. 116 より第3番：カプリッショト短調

ヨハネス・ブラームス 4つの小品 op. 119 より第3番：間奏曲ハ長調

ヨハネス・ Brahms 6つの小品 op. 118 より第2番：間奏曲イ長調
ヨハネス・ Brahms 8つの小品 op. 76 より第8番：カプリッチョハ長調
ヨハネス・ Brahms ピアノ・ソナタ第1番ハ長調 op. 1
フェリックス・メンデルスゾーン 無言歌集 op. 67 より第2番嬰ヘ短調
エドヴァルド・グリーグ 組曲《ホルベアの時代から》op. 40 より第1曲：前奏曲



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続し、PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結しています。

また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に OPT ISO BOX を適用し、OPT ISO BOX の AC アダプターの DC ケーブルに FX Audio の Petit Susie Solid State を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

今回、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続は、LAN iPurifier Pro の交換後に元に戻しています。

今回は、PC の受信からクロック入力の修理済の Brooklyn DAC+に送り出しています。また、PC と Brooklyn DAC+の間の介在は、iPurifier USB からインフラノイズの USB アキュライザーに交換しています。クロック入力は ABS-7777 を適用しています。

バッハのシャコンヌ、 Brahms のコラール前奏曲集 op. 122 、ショパンのハ短調前奏曲 (op. 28-20) による変奏曲と自由な形式のフーガ op. 22, は、ブゾーニによる編曲でオリジナル曲の雰囲気を残しながら、ブゾーニ流の自由闊達な曲に変換されています。

Brahms の 8つの小品 op. 76 (抜粋)から 8つの小品 op. 76 第8番までは小粋な小品集です。

Brahms のピアノ・ソナタ第1番は、ソナタらしい構成の整った曲で、抒情性も豊かな曲です。

メンデルスゾーンの無言歌集 op. 67 より第2番は、アンコール曲のようで優雅な小品です。

グリーグの組曲《ホルベアの時代から》の第1曲はアンコール曲のようで、弦楽合奏曲と思っていましたが、先にピアノ独奏作品として発表されたものだそうで、今回はそのオリジナルを華麗な演奏で聴くことができました。



4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用し、ABS-7777 からのクロック入力の Brooklyn DAC+に送り出し、PC と Brooklyn DAC+の間には USB アキュライザーに交換した結果、アリスト・シャムのバッハ、 Brahms、ブゾーニのそれぞれの曲の表情をスタンウェイから引き出した演奏でした。

以上